

| 会 議 録  |                |   |        |                      |
|--|----------------|---|--------|----------------------|
| 平成 18 年度第3回<br>社会教育委員の会議   | 日<br>時         | 平成 18 年6月 26 日(月)<br>午後2時 00 分～4 時 00 分           | 場<br>所 | 小金井市役所第二庁舎<br>801会議室 |
| 事務局  | 小金井市教育委員会生涯学習課 |   |        |                      |
| 出席者  | 委員             | 福島議長、彦坂副議長、井土、兼森、君塚、堀井、田中、武田各委員<br>(欠席) 柿崎委員、藤川委員 |        |                      |
|  | その他            | 石川教育部次長、伊藤生涯学習課長補佐、中嶋公民館長、古屋図書館長、<br>林体育課長、       |        |                      |
|  | 事務局            | 木村生涯学習係主事、宇佐見非常勤嘱託職員                              |        |                      |
| 傍聴の可否  | ◎可・一部不可・不可     | 傍聴者数  | 0人     |                      |
| 傍聴不可・一部不可の場合の理由  |                |   |        |                      |
| 次 第  |                |   |        |                      |
| 1. 報告事項  |                |   |        |                      |
| (1) 小金井市立清里山荘の指定管理者の指定について   |                |   |        |                      |
| (2) 地域参加のための講座について   |                |   |        |                      |
| (3) その他  |                |   |        |                      |
| 2. 協議事項  |                |   |        |                      |
| (1) 管外視察研修について   |                |   |        |                      |
| (2) その他  |                |   |        |                      |
| 1. 報告事項  |                |   |        |                      |
| (1) 小金井市立清里山荘の指定管理者の指定について   |                |   |        |                      |
| (伊藤生涯学習課長補佐)   |                |   |        |                      |
| 清里山荘の指定管理者については、現在の受託運営者である、フードサービスシワが<br>適当であるとの答申を4月25日受けました。                        |                |   |        |                      |
| その後、6月1日付け、「小金井市立清里山荘の指定管理者の指定について」の議案を<br>提出し、6月22日本会議において議決されました。                    |                |   |        |                      |
| 今後、仕様の細部を確定し、協定を締結して、9月1日からの指定開始に向けて遺漏の<br>無いよう準備を進めてまいります。                            |                |   |        |                      |
| (2) 地域参加のための講座について   |                |   |        |                      |
| (伊藤生涯学習課長補佐)   |                |   |        |                      |
| 昨年度より取り組んでまいりました、「団塊の世代のための地域参加講座」の第1回目を7<br>回連続講座として6月14日から7月12日までの間、毎週水曜日、公民館本館を中心に開 |                |   |        |                      |

催しています。

参加者は20名程で、前年に対し男性の割合が多くなっております。

また今回はフィールドワークも取り入れ、6月24日(土)に農工大繊維博物館、はけの森美術館を訪ねた後、都立武蔵野公園でバーベキューパーティを開催し交流を深めました。

今年度の第2回は秋に予定し、今回の経験を踏えさらにより良いものにしたいと思います。

(社会教育委員)

- ・講座を終了した人が具体的なボランティア活動に入れるように用意してもらいたい。
- ・講座終了後の気持ちが高揚している時に再会するようにすれば、参加者が次のステップに主体的に動き出すことが可能ではないか。

### (3) その他

ア. 図書館システムの不具合について

(古屋図書館長)

6月23日(金)朝の始業時から図書館システムに不具合が発生した。よって、図書館本館及び緑分室のカウンター業務については移動図書館のハンディターミナルで対応、東分室のカウンター業務は、ハンディターミナルがバッテリー切れであったため手作業で対応し、午後0時30分に復旧した。原因は昨年6月23日に、依頼した作業の設定情報が残っていたことで、今年の処理と競合したと聞いています。

次いで、6月24日(土)に緑センターで不具合が発生した。市の情報システム職員が調べたところ、ハブという器具がコンセントから外れたことが原因と判明した。器具がテーブル下にあり触れると外れる状況にあり、注意するよう伝えました。

更に、6月25日(日)に業務用機械で資料検索ができない不具合が発生した。業者の調査によると、夜間に行う日次処理に問題があったと分かりました。

市民への対応については、貼り紙などで周知したことにより、市民からの苦情等はありませんでした。

イ. 第19期小金井市公民館企画実行委員候補者の結果について

(中嶋公民館長)

小金井市公民館企画実行委員選出要綱により、「成人教育・文化活動部門」の委員数は、各館6人以内、5館で30人以内となっています。

第19期の委員候補者の募集については、各種団体からの推薦、ならびに市民公募委員募集を市報5月15日号に掲載し、6月14日に締切り、6月20日に候補者調整会を公民館本館にて実施しました。30人中20人の立候補・推薦届出者の決定となりました。〔結果は表を参照〕。

任期は平成18年7月21日から2年間で、同日に委嘱状を伝達いたします。

| 公民館名  | 候補者数 | 性別内訳 |     | 任期内訳 |     | 推薦・公募内訳 |     |
|-------|------|------|-----|------|-----|---------|-----|
|       |      | 女性   | 男性  | 再任   | 新人  | 推薦      | 立候補 |
| 公民館本館 | 6人   | 4人   | 2人  |      | 6人  | 1人      | 5人  |
| 本町分館  | 2人   | 1人   | 1人  | 2期2人 |     |         | 2人  |
| 貫井南分館 | 6人   | 2人   | 4人  | 2期4人 | 2人  | 1人      | 5人  |
| 東分館   | 0人   | —    | —   | —    | —   | —       | —   |
| 緑分館   | 6人   | 2人   | 4人  |      | 6人  | 1人      | 5人  |
| 合計    | 20人  | 9人   | 11人 | 2期6人 | 14人 | 3人      | 17人 |
| 内訳毎割合 |      | 45%  | 55% | 30%  | 70% | 15%     | 85% |

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 平均年齢 | 全体 63 歳、女性 59 歳、男性 66 歳   |
| 年齢   | 最年長 75 歳（女性）、最年少 39 歳（女性） |

本町分館と東町分館については市報8月1日号に追加募集を予定します。8月11日（金）説明会、18日（金）に締切り、21日（月）の調整会を経て、31日（木）の教育委員会定例会に議案提出の予定です。9月1日（金）に委嘱状を伝達し、任期は平成18年9月1日から平成20年7月20日までとなります。

[応募が少ないことに対し調査し、問題点解決や対策をとるべきではないか]

(中嶋公民館長)

市民参加条例により任期は3期であること。それ以外の方で継続しない理由としては「一身上の都合」ですが、団体サークルなどによりますと後継者が育たない、積極的に引き受けてくれる人がいない等があります。

自主活動など積極的な面がある反面、マンネリ化や時代的背景もあります。

(社会教育委員)

公民館主宰の講座の中で人を育てるなどしないと、再度募集するだけでは人は来ない。公民館はもう少し危機感を持って調査などして欲しい。若い人は時間がないなどに対し、どのようなやり方をすれば関れるのか考えて欲しい。

ウ. 社会教育関係団体の追加について

(伊藤生涯学習課課長補佐)

追加が2団体有り、6月26日現在、計82団体となっています。

エ. 定例議会での生涯学習課に関する答弁について

(石川教育部次長)

- ・ 清里山荘の指定管理者について〔報告事項1の(1)で報告済み〕
- ・ 異世代間交流の講座を組むことについて  
難しい面はあるが、新たな課題として検討したい。
- ・ 学校外活動支援として全国大会レベルに出る市民への支援について  
団体への支援基準はあるが、個人に対してはありません。多種多様の上、「全国レベル」の判断などで難しい。他市や東京都も行政としての取り組みはありません。
- ・ 小金井市を桜の名所として全国に発信することについて  
市内の道路要所に桜を植える要望が出ておりますが、教育部で答えられる範囲ではなく、都市建設部の回答では、管理の問題が有りすぐに実現できるものではないとのことです。
- ・ 貫井南センターに茶飲みコーナーを設けることについて  
狭小な施設であり設置は難しい。他の施設で可能であれば検討していきたい。

〔議会で出た要望に対し、広く市民のコンセンサスを得る必要性があるのではないか〕

(石川教育部次長)

議員も市民の代表であります。サークルなど市民サイドからの推進の提案や要望を聞いたり、他市の状況を調査したりして研究しつつ進めることとなります。

## 2. 協議事項

### (1) 管外視察研修について

〔視察先の事例として川崎市(インターネット上に公開されている情報から菅生、高津、臨港の各中学校区)、小平市、国分寺市を候補として検討、議論された〕

(社会教育委員)

- ・ 菅生中学校区は非常に活動が活発化しているようだ。地域教育会議の条文もきちんと制定されており、小金井のあり方を考える上でこちらの意見を伺うことは大変参考になると考える。川崎市でよいのではないか。
- ・ 川崎市は中学校区が51校区もあり規模が違いすぎる。距離の問題もある。
- ・ 小金井市と規模の違いはありますが、理念の方向性は規模の大小に関りはない。
- ・ 国分寺、小平は近隣市で比較的実績がある地域ではある。川崎市は全国的に有名なことによります。
- ・ 川崎市にも小金井市と共通した課題は有ると思う。それを情報交換し、課題に対しどのように取り組んでいるか、いろいろとヒントがもらえる可能性が高い。うまく行っている部分だけではなく、長い実績の裏側にどのような課題があるのかを調べるのに良い事例ではないか。

- ・臨港中学校区の事例は図解され分かり易い。
- ・せっかく視察に行くからには1ヶ所ではもったいない。
- ・高津中学校区の活動内容からすると、小金井でも健全育成やおやじの会とかいろいろ行われている。菅生中学校区が産みの苦しみを共感できそうで視察に良いのではないか。
- ・報告書を組み立てるには、行って話を聞くだけでなく、事前に会議の中で議論し、より戦略的に情報を取りに行くようにする必要がある。

(伊藤生涯学習課長補佐)

委員の方々の意向により、川崎市役所、菅生中学校区、臨港中学校区でスケジュールを立てたいと思います。

視察に当り、川崎市生涯学習推進課に伺って話をすることの了解を得ております。各中学校とはこれからコンタクトをとることになります。

日程は11月の月曜日を中心に、先方と調整いたします。

(石川教育部次長)

実際、3ヶ所の視察が可能かどうかは微妙ですので、配分を見て調整をさせて頂きたい。

## (2) その他

### ア. 校庭開放指導員の選定基準について

[指導員は公として「校庭開放指導員」の腕章を付け子供と接触することになる。地域の住民の安心を得るためにも、指導員の選定基準を知りたい]

(伊藤生涯学習課長)

選定方法は、前任の方が継続を希望すれば優先し、欠員があれば公募します。応募者多数の場合面接の上で選定します。

### イ. 地域子供教室の方針について

[地域子供教室(土曜)が来年度以降、文科省と厚労省による放課後子供プラン(平日)に変わることに対して、また予算面に対して市はどのように考えているか]

(伊藤生涯学習課長補佐)

- ① 文科省から小金井市に対し放課後子供プランについてアンケート調査があり、どのような方向性を示すか検討中と思われ、現時点で来年度以降どうするかは明確にはいたし兼ねます。実施するとなれば3課(生涯学習課、指導室、児童青少年課)で協力して行う方向で検討することになります。
- ② 前年度同様、予算自体は確保してあります。文科省予算の執行が可能になるのは例年では7月中旬以降のため、5月、6月に事業を行う場合は市の予算で対応します。来年度以降は財政等の方の考え方もありますので明言できませんが、基

本的には市の予算を確保し、その中で国の予算を活用して効率的に行うことになります。

- ③ 土曜の活動を継続するかは、新しい制度が土曜の活動を一切認めないかどうか見えていませんので判断は差し控えます。可能であれば土曜の校庭開放との連携などが考えられます。いずれにしろ文科省、厚労省の方針を見極めて判断したいと思います。

〔来年度の事業に、子供たちや実施している人の意見を反映すべきでは？〕

(伊藤生涯学習課長補佐)

組織は実行委員会、コーディネータ、各学校で実施される方で構成されていますが、実施される方の意見をコーディネータが調整し、生涯学習課へ集約いたします。

〔市としては3課で横断的に連携し、独自に実施して欲しいとの意見があった〕

#### ウ. 公民館研究大会について

〔社会教育委員としての役割はどの問いに対し〕

(中嶋公民館長)

今後の、ご協力よろしく願いいたします。

以 上